

13期(2019.9~2020.8)の目標

学会活動の見える化

14期(2020.9~2021.8)の目標

学会員の意識改革

症例報告・実践活動報告を行い、スポーツ栄養学の基盤づくりに関わるという意識を高める。

13期(2019.9~2020.8)

14期(2020.9~2021.8)の目標

目標

学会活動のホームページを通じた見える化の促進

・学会全ての事業、委員会、部会活動の見える化の検討

課題と改善点等

・掲載が滞らないよう、掲載までの指示命令系統の見直しを図った。
・事業ごとの担当制としたことにより、例年より発信量が増加した。
・新規委員会、事業の情報掲載を行う。

学会活動のホームページを通じた情報発信の充実

・学会すべての事業委員会・部会活動の見える化の公開
・新規サイトリニューアル検討

研究と実践活動の両方の報告を含む独自性のある学会誌としてのプレゼンス向上

・第15号の総掲載数: 20~25本
・実践活動報告: ~5本

スポーツ関連団体との連携体制の構築及び、合同イベント開催の定着

・連携団体とのイベント開催

事業内容の効果を国内外に向け可視化するための方法を検討する。

新体制に向けた事業運営準備と現研究プロジェクト活動の公表化に向けた支援活動

既存事業の継続と実践活動を促進するための活動の企画、立案を行う。

教育支援部会と共に学会総会時等セミナーを企画、立案する。

アカデミックな内容、実践活動発表支援、新カリキュラムのフォローアップを更新研修会の柱として開催する。

既存の連携体制を維持することと共に、JSNA共催の国際シンポジウムに向けた会員支援を検討。
国際交流推進の意義に対する理解を会員に促し、会員からの意見を委員会活動に活かすシステムを検討する。

新カリキュラムと新テキストによる講習会・検定試験の整理

・新カリキュラムによる講習会の修正や調整の完了
・新カリキュラムによる検定試験の準備と実施
・更新手続き等についての見直し

学会

HP・広報委員会

JJSN編集委員会

渉外委員会

国内連携部会

学術広報部会

研究教育支援委員会

研究支援部会

教育支援部会

講習会部会

更新研修部会

国際交流委員会

認定事業運営委員会

実践活動報告の充実に向けた基盤づくり

・第14号の総掲載数: 15~20本
・実践活動報告: ~5本

第12期までに連携した関連団体との連携体制の整理及び強化

・関連の細則を整備し、現関連団体との連携体制を整理し、強化する

日本スポーツ栄養学会における学術研究領域の体制整備

・各種事業の見える化

国外スポーツ栄養関連団体との連携体制と情報の流れを固める

新カリキュラムの整理と新テキスト発行

・新テキストの校正・発行
・新カリキュラムによる講習会運営
・更新について現在の状況を分析する

・投稿論文数は目標達成の見込み。
・査読者が不足しており、人材育成が急務。
・実践活動報告を増やすため、更新研修部会との協力が必要。

・連携団体との共同シンポジウムが延期等、合同イベントの企画・立案ができていない。
開催方法の検討が必要である。
・連携体制を整理し、基準作りを行う。

・現研究プロジェクトが停止しているため、webアンケートなど実施可能な方法を検討。
また、活動状況の報告を行うことが課題。

・助成金事業の申請・報告書類の不備が目立ったため、チェック機能を設定した。

・対面式以外での講習会の開催方法の検討が課題である。

・受講者の要望と質の向上のための実践活動報告支援が必要である。

・各団体との連携を積極的に実施できた。
・予算など資源の条件に基づき情報提供方法の見直しを図った。

・養成講習会は延期され、認定関連機関及び受講生等の対応と共に開催方法の検討が必要である。
・新カリキュラム対応の検定試験のため、過年度修了者への対応が必要である。
・認定関連機関との協定のために協議が必要である。